

平成31年度予算見積調書

課室名：水辺再生課
 担当名：ダム管理担当
 内線：5142

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B48	社会資本整備総合交付金（河川）事業費（水辺）		一般会計	土木費	河川費	河川改良費	社会資本整備総合交付金（河川）事業費	
事業期間	平成22年度～	根拠法令	河川法第9条、第17条、第60条、第66条			宣言項目		
					分野施策	020518 治水・治山対策の推進		
1 事業の概要			5 事業説明					
<p>水環境の悪化している河川を対象に、底泥のしゅんせつによる河川の水質改善を行うことで、良好な河川環境を構築する。また、遊歩道として利用できる河川管理用通路や水辺に近づくことができる親水護岸等の整備を行うことで、河川とまちが融合した良好な空間の形成を図る。</p> <p>ダム管理設備の不具合が多発しており、保守終息・機器製造終了により、障害の根本的な対応が不可能な状態になっているため、設備の改良を実施する。</p> <p>(1) 河川環境整備事業 213,611千円 (2) 堰堤改良事業 35,000千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 河川環境整備事業 213,611千円 水環境の悪化している河川を対象に、底泥をしゅんせつし、河川の水質改善を行う。また、遊歩道として利用できる河川管理用通路や水辺に近づくことができる親水護岸等の整備を行い、河川とまちが融合した良好な空間を形成することにより、河川環境の改善を図る。 (ア) 菖蒲川 (しゅんせつ) (イ) 元荒川・新方川 (管理用通路整備) (ウ) 新河岸川・柳瀬川 (管理用道路整備) (エ) 綾瀬川 (管理用通路整備、親水護岸整備)</p> <p>イ 堰堤改良事業 35,000千円 老朽化により故障が頻発するようになっているダムの管理設備の改良工事を実施する。 (ア) 有間ダム管理設備改良工事</p> <p>(2) 事業計画 ア H32年度 完了 : 元荒川・新方川、新河岸川・柳瀬川、綾瀬川 H34年度 完了 : 菖蒲川</p> <p>イ ダム設備の改良工事を計画的に実施</p> <p>(3) 事業効果 ア 水質改善や良好な河川空間を形成することで、県民の河川環境への意識の向上を図る。</p> <p>イ 施設の不良によるダムの機能低下、それに起因する災害や事故を未然に防ぐことで適切なダムの運営を図る。 (防災安全交付金 事業効果) ダム関連周辺機器の故障回数 1,091回 → 0回</p>					
2 事業主体及び負担区分								
<p>(1) 河川環境整備事業〔(国1/3・県2/3)〕 (2) 堰堤改良事業 [有間ダム(国26.6%・県39.8%・企業局14.4%・飯能市19.2%)]</p>								
3 地方財政措置の状況								
<p>河川事業債（一般公共事業債） 充当率 90%（通常分90% 財対分0%）</p>								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員								
<p>(1) 事業に係る人件費 9,500千円×2.5人=23,750千円 (2) 組織の新設、改廃及び増員 なし</p>								
予算額		財源内訳					一般財源	前年との対比
		国庫支出金	諸収入	県債				
決定額	248,611	79,696	11,760	157,000			155	
前年額	284,000	91,300	16,750	175,000			950	